

Libra | on

vol.26

<http://www.libra-sc.jp>

りぶらいおん

特集：① りぶら市民活動センターでなにをする？

② 「外国人が日本語の歌を歌うのだ自慢大会 vol.3」 報告



● 市民活動団体紹介

Viva おかざき！！

ホスピス研究会 OKAZAKI

- 私の一冊 vol.20
- りぶら生涯学習情報
- りぶら中央図書館情報

● りぶらサポーター紹介 森崎 健二





あなたは何をしに【りぶら市民活動センター】へ？

why did you come the 'りぶら市民活動センター' ?

【りぶら市民活動センター】と聞いて、「ああ、あそこね」とピンとくる人は、岡崎市民の中でもまだまだ少数派ではないでしょうか？
 名前から、「りぶらの中にある市民活動センターなんだろう」と想像はついても、さて、その「市民活動センター」とはいかなる場所か？！
 今回、聞いてみました！！
 ズバリ、「あなたは何をしに【りぶら市民活動センター】へ？」



【40代女性】

「今日は、市民活動団体登録の相談に来ました。私たちは、市内で子どもの健全育成を目的とした『子育て勉強会』をしています。登録すると、様々な支援が受けられると聞いて…。登録の要件や、申請書の書き方など窓口で相談にのってもらいました」

- ★市民活動団体登録 ★おかざき市民活動情報ひろば
- ★NPO設立相談 ★協働先紹介

… 市民活動に関する相談ができます！



【60代男性】

「町内会の配布資料を印刷しに来たよ。ここには、モノクロ・カラー・大判印刷まで、便利な印刷機器がそろっていて、しかもかなり安く印刷することができるから助かっているよ。操作方法も親切に教えてもらえるしね」

【岡崎市をよりよくするために活動してるグループのみなさん】
 「ミーティングの場として活動コーナーを利用しています。会報の印刷もできるし、チラシも置ける。たまたま隣り合ったグループの方との情報交換もできたり、いい交流の場となっています」



- ★モノクロ印刷機 ★カラー印刷機 ★大型プリンター ★コピー機
- ★プリンター ★裁断機 ★穴あけパンチ ★ラミネーター
- ★打合せ用テーブル・椅子・ホワイトボード

… 活動コーナー・印刷機器がご利用できます！

※ 利用料金・利用ルールなど詳細は、お気軽にお問合せください。

【お子さん連れの 30 代女性】

「情報コーナーには、市内で行われているイベントや勉強会、各種サークルなどのチラシがいっぱい置いてあります。時々チェックして情報を集めています。『りぶら講座』のチラシもここで見て、いくつか申し込みをしたんですよ。そうそう、託児の予約もしていかなきゃ」



- ★ポスター・チラシの掲示
- ★パソコンによる情報収集
- … 市民活動や生涯学習の**情報の受発信**ができます！
- … **託児の予約申込み**ができます！



【学生】

「学校の帰りに寄りました。ここでは、ボランティアの情報をよく見ます。夏休みにりぶらであったイベントのボランティアに参加したら、とても楽しくて意義深かったから。以来『まちびとバンク』に登録をして、マイペースでボランティアに参加しています」

【50 代男性】

「町の美化運動に取り組んでいるのだけれど、人がなかなか集まらなくて困っているんだ。ここにすれば、『まちびとバンク』を通して、ボランティア募集をかけられると聞いて、来てみました。ボランティア依頼をすると、チラシの掲示や情報ひろばへの掲載、登録しているボランティアさんへの声掛けなどをして、ボランティアさんを探してくれるそう。たくさん人が集まってくれるといいなあ」

- ★ボランティアの依頼・応募の窓口
- ★ボランティア情報の受発信
- ★ボランティア登録
- … **ボランティア全般の相談**ができます！



「りぶら市民活動センター」は、広く市民のみなさまの活動や、ボランティアの相談・支援の窓口を担っています。また、活動コーナーには機関紙やチラシのラックがあり、情報の受発信ができます。簡単な打合せのできる活動コーナー、資料作成・印刷ができる印刷作業室もご利用できます。

総合案内の東側奥という場所柄、「入りにくい」「用件がないと入ってはだめ？」との声も聞きますが、市民活動センターは、まさに『市民』みなさまのための場です。どんどんご利用ください。スタッフ一同お待ちしております。

りぶら市民活動センター 0564-23-3114



平成 25 年 2 月 3 日 (日)

外国人が日本語の歌を歌う のど自慢大会 Vol.3 レポート



2/3 (日)、りぶらホールにて「外国人が日本語の歌を歌うのど自慢大会」が開催されました。3 回目となった今大会、出演者は 14 名。皆さんの熱唱が会場を熱くさせました。また、ゲスト、審査員、司会者、スタッフ (14 名)、ボランティア (7 名)、取材 (5 名)、来場者 (約 130 名)、合計約 180 名が、それぞれの場所で交流を深めることができました。



出演者・曲目リスト&結果一覧

No.	氏名	出身国	曲目	結果
1	パトリック	香港	北の漁場	参加賞
2	グスタボ江川	ブラジル	duet	参加賞
3	ジャージェ	中国	なごり雪	参加賞
4	杉浦ユリセス	フィリピン	道	参加賞
5	セルビトマリージョイ	フィリピン	ストーリー	参加賞
6	森口モニカ	フィリピン	愛のままで ベサメムーチョ	審査員賞
7	張月美 (チョウツキミ)	中国	童神	参加賞
8	王耕蘋 (オウケンピン)	台湾	ジュリアに傷心	参加賞
9	シャアイチュ	台湾	This Love	参加賞
10	徳永ジュリ	ブラジル	I LOVE YOU が言えなくて SAKURA, I love you?	入賞
11	リュウエイサク	中国	夕焼けの歌 恋歌綴り	入賞
12	市川ガブリエラ	ブラジル	みんな空の下 あなたのキスを数えましょう	入賞
13	戸井カロリネ	ブラジル	サヨナラ やさしいキスをして	優勝
14	林固磐 (リングパウ)	中国	グッバイデイズ	参加賞



司会：新井伸子さん

【司会】新井伸子

【審査員】

- 柏木典子 (岡崎音楽家協会副代表)
- 太田義男 (市民協働推進課国際班主幹)
- 香田ともこ (NPO 岡崎都心再生協議会)
- 浅井寮子 ((株) リバーシブル編集長)
- 内田 明 (LSC 副代表)

【ゲスト】靖芳さん (前年度優勝者)



決勝の審査中！ 真剣です！

結果

優勝：戸井カロリネさん

審査員賞：森口モニカさん

入賞：徳永ジュリさん、リュウエイサクさん、
市川ガブリエラさん

参加賞・入賞賞品として、りぶらサポータークラブからりぶらグッズと図書券、「viva おかざき！！」から優勝者賞品としてホットプレートの提供がありました。



優勝：戸井カロリネさん



審査員賞：森口モニカさん

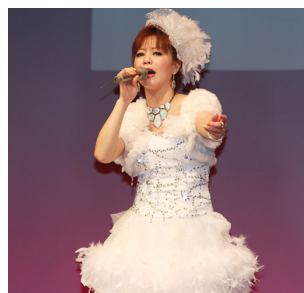
アンケート・感想など (回収：47)

よかった：14	よかった/つづけてほしい：20	つづけてほしい：11
まあまあ：1	いまいち/つづけてほしい：1	なくてもよい：0

- ・歌詞か出場者の写真を映して欲しい。映像があった方が楽しい。
- ・皆さん日本語がうまく、声の質がよいのに驚いた。ぜひ続けて下さい。
- ・日本語もうまく、感情表現も豊かでとてもよかったです。
- ・これは楽しい！ もっと他の国の人の参加も。
- ・企画自体はとても面白い。ただ司会者にはもう少し頑張ってもらいたい。少々物足りない。
- ・ゲストもよかったです。
- ・勇気づけられました。
- ・宣伝が必要かと思えます。三河大会に発展したらいいですね。
- ・皆さんとてもお上手で、日本を愛して下さいました。
- ・親近感が湧きました。
- ・曲の紹介のときに、歌手名もいってもらえるといい。
- ・決勝進出の皆さんの歌唱力が素晴らしい。さらに日本人との交流を深めてもらいたい。決勝に出られなかった方々も、努力がうかがえて素晴らしい。
- ・日本お歌を一生懸命歌っている姿に好感が持てました。モニカさんの歌に感動して涙がこぼれました。
- ・日本人が格好つけて歌うよりずっとよかったです。ジャジエさんの声、モニカさんの歌、張さんのチャイナドレス、すてきでした。ワールドレクチャーの日と重ならない方がよい。2時までし

か聞けない。

- ・フルコーラスは長いのでは？
インタビューがもう少し控えめでも。
- ・司会者のインタビューに好感が持てた。
- ・日本語を覚えてくれてありがとう！
- ・みんな上手、一生懸命！
- ・ド演歌や昔の裏がなくて残念です。パフォーマンスもないし、カラオケ会と変わらない。地味。もっと華やかさが欲しい。



ゲストの靖芳さん



入賞：徳永ジュリさん



入賞：リュウエイサクさん



入賞：市川ガブリエラさん



スタッフの皆さん



3月・4月 りぶら生涯学習ガイド

催しの予定は、変更や申込受けを完了している場合があります。詳細は主催者へお問い合わせください。

日時	イベント名	料金	問合せ先
3月3日(日) ① 9:30～② 10:30～ ③ 13:00～	岡崎生涯学習サークル“きらり” 「りぶら癒しワークショップ」①	講座毎 1000円	箕浦 080-1551-1967 ryoko-may14@docoomo.ne.jp
3月3日(日) ① 9:30～② 15:00～	岡崎生涯学習サークル“きらり” 「りぶら癒しワークショップ」②	講座毎 1000円	箕浦 080-1551-1967 ryoko-may14@docoomo.ne.jp
3月3・17(日) 10:00～12:00	男女共同参画講座 「女性のための健康講座～更年期のココロ・カラダと向き合うコツ～」	無料	文化活動推進課 23-6222
3月3日(日) ～17日(日)	女性のための健康講座	無料	文化活動推進課男女共同参画 23-6222
3月3日(日) 13:00～15:00	りぶらフォーラム 2012	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
3月3日(日) 14:00～16:00	ワールドレクチャー 外国を学ぶ モンゴル	無料	りぶら国際交流センター 23-3148
3月4・11・18(月) 14:00～16:00	ことばの教室 スペイン語	無料	りぶら国際交流センター 23-3148
3/5・4/2・5/7 ① 10:00 ② 14:00	プリザーブドフラワー教室	3500円 (3回分)	La petite table 鈴木 0533-67-7448
3月7日(木) 10:00～12:00	思春期の子供を持つ親の子育て講座	500円	小霜 080-1591-1634
3月10日(日) 10:00～12:00	りぶら いきものみつけ隊	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
3月10日(日) 14:00～16:00	チャットサロン	無料	りぶら国際交流センター 23-3148
3月10日(日) 15:00～17:00	りぶらジャズオーケストラ Jr. 岡崎 Beanzz (ビーンズ) 第4回定期コンサート	一般 500円 高校生 300円	図書館交流プラザ 23-3100
3月12日(火) 13:30～15:00	りぶら講座 No.69	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
3月15日(金) 18:30～	初心者も楊名時太極拳を楽しもう		葵会 (三輪) 22-4758
3月16日(土) 10:00～12:00	りぶら いきものみつけ隊	初回のみ 500円	りぶらサポータークラブ 23-3114
3月17日(日) 10:00～12:00	「狂言」調べる学習会	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
3月17日(日) 11:00～	勝手に観光大使 岡崎 miso 娘新メンバー募集説明会		岡崎 miso 娘 090-7691-9523
3月17日(日) 14:00～16:00	カルチャーサロン 和太鼓	無料	りぶら国際交流センター 23-3148
3月19日(火) 14:00～16:00	生涯学習はじめましてサロン	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
3月20日(水) 16:00～18:00	りぶら寄席 「雷門獅籠&雷門福三 二人会」	前売 1500円 当日 2000円	図書館交流プラザ 23-3100
3月23日(土) 10:00～12:00	女性のための法律講座 「よく分かる離婚講座」	無料	文化活動推進課 23-6222

日 時	イベント名	料 金	問合せ先
3月24日(日) 9:30～12:00	転入者向け岡崎市紹介講座 「ようこそ！岡崎市へ」	無料	文化活動推進課 23-3110
3月24日(日) 10:00～	海外よもやま話 海外滞在の話と写真を紹介		佐藤 58-6298
3月24日(日) 11:00～13:00	リビングガイドセミナー (ブラジルについて)	無料	りぶら国際交流センター 23-3148
3月24日(日) 13:30～15:00	りぶら講座 No.68	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
3月24日(日) 13:30～ 3月26日(火) ①9:00 ②13:30	小・中学生のための夢描き講座 新小学6年生～中学3年生	2,000円	Eメール info@popura.eek.jp ポプラの会(吉田) 080-4227-2742
3月25日(月) 10:00～	就活に役立つキャリア心理学	500円	http://psy-ayurveda. jimdocom/ (小霜) 080-1591-1634
3月31日(日) 18:30～20:00	「りぶら狂言教室・狂言観賞会」	1500円	りぶらサポータークラブ 23-3114
4月①1・8日(月) ②15・22日(月) 9:30～10:30	知育のためのリトミック (2～3歳児)	全10回 6,000円	育遊空感べる★す～ず 080-3661-5152
4月1・15日(月) 11:00～12:00	知育のためのリトミック (1～2歳児)	全10回 6,000円	育遊空感べる★す～ず 080-3661-5152
4月1・15日(月) 13:00～14:00	知育のためのリトミック (0～1歳児)	全10回 6,000円	育遊空感べる★す～ず 080-3661-5152
4月3日(火)～ 5月18日(金)	“梵字の般若心経” 解読から 仏教を学ぶ 試み	1回1000円	主宰 小川智男 FAX 0565-21-8839
4月4日(木) 13:30～	フラダンス 無料体験講習	無料	岡崎プルメリア 090-2939-7235(鈴木)
4月5・19日(金) 13:00～14:00	ベビーイングリッシュ	全10回 11,000円	育遊空感べる★す～ず 080-3661-5152
4月5・6日(金)(土) 13:00～14:00	セラの英会話講座 (3月11日(月)までにEメールで申込)	28,000円 (40回分)	okazakiekaiwa@gmail.com (セラ・リネカー) 080-5296-3386
4月5日(金) 14:00～16:00	第13回 地域市民セミナー“しゃべり場” (シニアからの過ごし方情報交換会)	無料	市民のきもち研究会 090-8136-1680(森)
4月9・23(火) 10:00～11:50	きもの着付け教室	6回6000円	柿本 090-5105-0518
4月12日(金) 10:00～15:00	“シニア”からの過ごし方「案内窓口」 シニアのかけ込み寺	無料	市民のきもち研究会 090-8136-1680(森)
4月12日(金) 10:00～14:00	地域市民セミナー“実践の場” ひざ掛けづくり	無料	市民のきもち研究会 090-8136-1680(森)
4月16日(火) 13:30～15:00	岡崎市はじめましてサロン	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
4月18日(木) ①10:30、②14:00	シネマ・ド・りぶら上映会 『夜の騎士道』	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
4月19日(金) ①10:00、②11:00	3Bベビー親子体操 ①0歳児 ②1・2歳児	2,500円 (5回分)	鈴木 43-4785
4月21日(日) 10:00～12:00	りぶらいきものみつけ隊	初回のみ 500円	りぶらサポータークラブ 23-3114



りぶら中央図書館情報

自動車文庫「あおい号」の巡回を終了します

自動車文庫「あおい号」は、昭和50年に「みどり号」として巡回を開始しました。昭和58年に「みどり号」から「あおい号」へと改称し、現在は約2,500冊の資料を載せて、市内の全公立小学校を始め、54箇所を2台で巡回しております。しかし、事務事業の見直しにより、平成25年3月の巡回をもって終了することとなりました。長い間、ご利用ありがとうございました。

市内には、中央図書館、額田図書館、各市民センター図書室（岩津・大平・中央・東部・南部・六ツ美・矢作）および岡崎げんき館情報ライブラリーがあります。多分野の資料をそろえておりますので、今後も図書館のご利用をお待ちしております。



レファレンス事例集

岡崎市立中央図書館でこれまでに受けた資料相談事例を紹介します。春が近づいてくると野原もにぎやかになってきます。子どもたちにも人気のタンポポについてのレファレンスです。



質 問	タンポポの愛知県の分布図はないか？
回 答	地域資料の472分類の辺りをみるが資料がない。一般書『日本のタンポポとセイヨウタンポポ』の参考文献から、『愛知教育大学研究報告35自然科学』の139-148に『愛知県におけるニホンタンポポと帰化タンポポの分布』があることがわかる。当館に研究報告あり。分布図も掲載されていた。
キーワード	タンポポ
参考資料	①『日本のタンポポとセイヨウタンポポ』小川 潔／著 どうぶつ社 2001年刊 【479.9 二】 ②『愛知教育大学研究報告 第35輯 自然科学』愛知教育大学／編・刊 愛知教育大学 1986年刊【A 370 ア】（地域資料書庫）

りぶら映像アーカイブス

前号でもお伝えしたとおり、「りぶら映像アーカイブス」は、現在りぶら館内の3箇所（1階レファレンスライブラリー・岡崎むかし館・2階お城通り）に設置され、どなたでも自由に見られるようになっています。スマートフォンやタブレット端末のように、指先で簡単に操作できるなど、使い勝手が大幅に向上しました。これからも、岡崎市内の貴重な映像を少しずつ取り入れながら、資料データベースとしての充実を図っていきます。

担当：中央図書館企画班



1階 レファレンスライブラリー
パソコン・データベース席の近く



1階 岡崎むかし館
東側入口を入ってすぐ

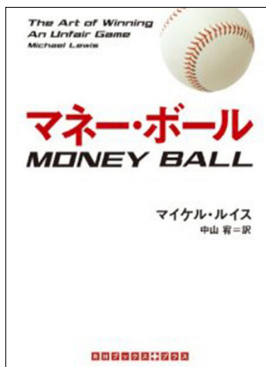


2階 お城通り
総合案内向かいのソファ席の近く



私の一冊 vol.20

『マネー・ボール』



マイケル・ルイス：著 新潮社

野球の醍醐味といえば、ホームランや華麗な守備、ピッチャーから投げられる豪速球が思い浮かぶと思います。私もこういったプレーに一喜一憂し、毎年日本のプロ野球や甲子園、アメリカのメジャーリーグを楽しんでいます。今年は、プロ野球の世界大会のワールド・ベースボール・クラシックもあり、よりいっそう楽しみな1年になりそうです。

この話は、実際にメジャーリーグであった話を取り上げたノンフィクションです。現在のメジャーリーグの強豪球団は、イチロー選手も所属するニューヨーク・ヤンキースです。選手の年俸総額がメジャーリーグで1番多く、金持ち球団で強豪なだけに、数々の栄光を手に入れています。そして、そんな強い球団があれば、その逆のチームもあります。この話の主人公でもあるオークランド・アスレチックスです。

このチームは、資金力がないためにより選手がチームを去ってしまう悪循環を繰り返し、チームは経営危機に瀕しています。こんなチームのGMに就任したのがビリー・ビーンです。彼は選手の試合の成績をデータ化し、それをもとにしたマネーボール論という持論を展開して、選手自体を数値化しました。勝ちに徹するマネージメントでシーズンを戦い抜き、最後はアスレチックスをプレーオフにまで導くという過程を描いたストーリーです。



坂野裕介（ばんの ゆうすけ）

有限会社デンベルで、りぶらのホールとスタジオの管理を担当しています。野球はするのを見るのも好きで、学生時代のポジションはセンター。休日は観戦！

今までに読んだスポーツ関係の本は、選手や監督を取り上げたものが多かったのですが、この著書では、お金や人海戦術という、これまでとは違う目線で取り上げており、ビジネスにも通じる面をもたせているのが面白いと思いました。

2011年にはブラット・ピット主演で映画化されています。弱いチームが強いチームを倒すためにはどういった努力をしたのか？ 現場とフロントがいかに連携し、コストパフォーマンスをよくして球団を建て直したのか？ 格差社会に挑んだ実話が気になる方は、是非どうぞ。



市民活動団体紹介

「Viva おかざき！！」



「Viva おかざき！！」って？

外国人がよりよく過ごすためのサポートや情報提供を行い、地域とのつながり（コミュニティ）をつくるための活動をしているボランティア団体です。



岡崎市では人口の2%、約50人に1人が外国人です。彼らや周りの日本人は、生活面において様々な問題に直面しています。問題の背景には、文化・習慣の違いによる摩擦や誤解があります。

外国人にとっては大音量の音楽も自宅なら平気と思っても、日本人にとっては近所迷惑と感ずるのはその一例です。日本人も社会や地域のルールを知らないからといって、毎回事細かに説明したりしません。この状況を解決するために、外国人が日本文化を学ぶ機会をつくり、日本人が外国人を受け入れ、理解し合うためのコミュニケーションの場を提供しています。

活動の内容

以下の5つの事業を展開しています。

- ①**生活相談**：外国人が生活で困っていること（引越し・託児所・子どもの進学など）について相談にのります。
- ②**日本での暮らし方講座**：外国人が日本で生活する上で知っておくべき事（防災・ゴミ問題・食生活など）を学んでもらう講座を開催しています。
- ③**交流会**：外国人と日本人が文化理解や交流を深めるための事業（地域のお祭参加・料理教室・チャットサロンなど）です。
- ④**岡崎施設紹介ツアー**：岡崎での生活をより楽しむヒントとして、公共施設の使い方やイベントの紹介をします（りぶら・げんき館・岡崎城・八丁味噌蔵など）。
- ⑤**情報交換・交流の輪「Vivaひろば」**：情報収集や交流の場として、気軽に立ち寄れる場です。毎月第2・第4土曜日の10:00～20:00にりぶらの会議室などで、生活相談・交流イベント・語学講座（中国語講座、スペイン語講座）・市・他団体のイベント情報提供を行っています。



誕生のきっかけ

2010年9月23日、「外国人と日本人が共生できる岡崎づくり」を目指して、長尾晴香・岸本サンドラ・鈴木美帆の3名が中心になって、『Viva おかざき！！』を設立しました。

長尾は「海外生活をした中で困った経験から、今日本で生活をしている人を手助けしたい」。岸本は「アルゼンチンから日本に来て20年近くになるが、2008年の岡崎豪雨の時に伊賀川沿いに住んでいて、鳴っているサイレンの意味がわからず苦労した経験から」。鈴木は「仕事で外国の方と接する機会が多く、日本人なら当然イメージ出来る事がわからないこと、例えば「お弁当を持ってきてください」と言っても、お弁当がイメージで

きずにパン1個持たせてし

まい、子どもがみんなの前で食べることができない」など、「日本人なら当たり前な事を、誰かに気軽に聞くことができる場所をつくりたい。困っている人がいたらすぐに助けてあげたい」と、3人の思いが1つに重なり、これまで国際交流ボランティアをやってきた経験とメンバーそれぞれの立場から、「Viva おかざき！！」が誕生しました。

「Viva」とは、「バンザイ」という意味です。「日本っていいな、岡崎に来てよかった岡崎に来て楽しかった」と、バンザイしてもらえるようにという気持ちを込めてこの名前になりました。

今後の予定

今年は、特に防災に力を入れた講座を予定しています。1月には「Vivaと学ぼう☆第1回地震があったら、どうする?! ~りぶらから避難所に行ってみよう~」として、りぶらで地震にあった時の避難を想定して、この地域の避難所である連尺小学校まで外国人参加者の方と一緒に歩いて行き、防災倉庫の中も見て来ました。講座には、岡崎市職員・警察の方も協力していただき、とてもスムーズに開催できました。防災講座は、後4回計画しています。



4月からは英語講座も始めたいと思っています。また交流活動では、神明宮大祭への参加を、みなさんとても楽しみにしていちゃいます。みんなで「Viva おかざき！！」と言えるように、活動を続けていきたいと思っています。

また、一緒に活動をしてくれる方を大募集中です！ 当日の手伝いから、あなた発信のイベント企画や運営も大歓迎です。「Viva おかざき！！」の一員になって、岡崎を住みよい街にしませんか？



「Viva おかざき！！」のオススメ

「ノバ ブラジリアーナ」

種類豊富な手作りのオリジナルイタリアンピザとブラジルピザが味わえる店です。メニューに日本語表記がありますので、ぜひ本場の美味しさと雰囲気味わって下さい！

岡崎市戸崎町辻 34-2
 平 18:00～23:00
 土 12:00～24:00
 日 12:00～23:00
 定休日…月曜日
 TEL…0564-59-3553

【連絡先】

E-mail : viva_okazaki@yahoo.co.jp
 HP : <http://genki365.net/gnko/mypage/index.php?gid=G0000757>
 Facebook 「Viva okazaki」も見てください。

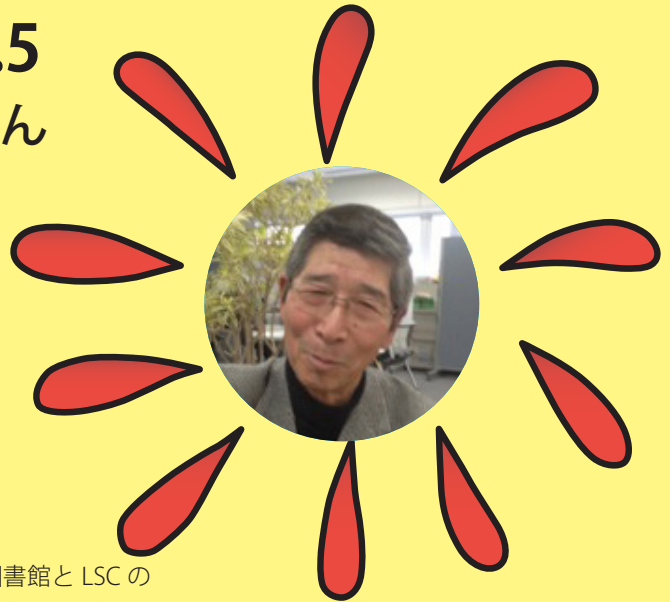


りぶらサポーター紹介 vol.5

りぶらサポータークラブ運営委員 森崎健二さん

りぶらサポーターを、順次紹介しています。

森崎健二さんは、LSCの活動だけではなく、いろいろな市民活動団体で活動して来られました。お子さん・お孫さんが生まれ育った第二の故郷である岡崎が、よりよい街になるように少しでも役に立てればと、LSCの活動に参加されています。



LSCに参加したきっかけは？

長くかかわった愛知万博（2005年3月～9月）の終了後の「万博後遺症」のさなか、市の広報で知った「りぶら管理運営等検討会委員」（2006年3月募集）に応募して「りぶら」との繋がりができ、「りぶら」開設（2008年11月）と同時に、当然のようにLSCに入会しました。

LSCに入る前のボランティア活動は？

いわゆる会社生活卒業後、取り組んだボランティア活動は2本立てです。1つ目は「愛知万博へのコミット」。2000年のハノーバー万博見学から2005年末のボランティア・センター事務局の後始末まで、どっぷり浸かりました。

2つ目は「プロゴルフツアーの運営ボランティア（スコアラーほか）」。10年以上前から、のべ約150日活動しています。北海道まで足を延ばしたこともあります。

経費は全て持ち出しで、周りからは変人扱いですが、コース内を担当の3人のプロに随伴し、プレー情報を携帯端末から速報センターに発信する業務は極めて魅力的です。体力的に少々厳しくなっていますが、あとしばらくは続けるつもりです。

LSCでは主にどんな活動を？

LSCに入会して最初にコミットしたのは、「調べ学習講座」への参加。先生は事務局長の戸松さん、生徒仲間には代表の山田さんや運営委員の長坂さんなども。私が選んだテーマは「映画」。『たかが映画、されど映画』として。青春時代をととても豊かにしてくれた映画体験をレビューしました。軽い気持ちで始めたこ

の調べ学習が、現在中央図書館とLSCの共催事業になっている「シネマ・ド・りぶら」上映会に繋がっています。

現在の担当は、上映会のチラシ作成とコラムの提供です。情報が氾濫する今日、既存のチラシやネットレビューを探してきて丸使いするのは簡単ですが、自分なりにDVDを何度も見直し、収集した情報をバラして再構成して創作しています。

私の専門は1950年代の洋画で、最近の映画はあまり見ていません。2月に上映した『4分間のピアニスト』も、チラシを作るために初めてDVDで見たのですが、ラストシーンのピアノ演奏者が誰だったのか気になり、ネットのレビューやエンドロールを何度も見直し、2人の日本人演奏家にたどりついてコラムに書きました。とにかく調べることが大好き。「学習は手段ではなく、それ自体が目的」、というのが私の持論です。

LSC以外での活動は？

ゴルフ・ツアー関係の活動のほか、父が晩年楽しんでいた俳句を、七十の手習いで始めました。あまり親孝行できなかった父との対話のつもりです。もともと理科系で、国語力が弱いので上達は全く期待していませんが、俳句は花鳥風月・神社仏閣など、「調べ学習」対象の宝庫です。岡崎を本拠とする「かつらぎ」系俳句会の句会や吟行会に参加して、句と吟行記の作成を楽しんでいます。岡崎が好きで詠んだ近作を紹介します。

「初景色わが町にあり城と川」
今年の元旦早朝の菅生川畔の初景色のスケッチですが、当たり前すぎて句会では全く採ってもらえませんでした（笑）。

Libra i on

一番思い出深いことは

30年ほど前、ワークス・チームのエンジニアとして参加した、WRCアクロポリス・ラリー（1981年のギリシャ）の体験です。「約2年間の血の滲む努力が一昼夜にして崩れる勝負の世界の厳しさと潔さ」「リタイア原因の解明を含めて半月滞在したギリシャ」「数年後に後輩たちが達成してくれたWRCのワークスとドライバーの総合優勝の勝負の世界の醍醐味」と、今になると、いずれも夢の中の出来事のような、強烈な思い出です。

プライベートデータ

【行きつけ・オススメのお店】
「豆蔵」我が家の近所の珈琲店。
読書と書き物で時々利用。

【南海の孤島に持って行くもの】
パソコン、バッテリー、メモリー

【ベスト映画】
ベストは選ぶのが困難だが、50なら簡単。別格として『第三の男』『甘い生活』『愛人ジュリエット』。

【宝物】
家族、友人、思い出

【自慢できること】
好奇心、粘り強さ、凝り性



市民活動団体紹介

「ホスピス研究会 OKAZAKI」

「がん患者サロン」オープン

去る1月12日、岡崎市康生町に「がん患者サロン」がオープンしました。がん患者やその家族が、それぞれの闘病の悩みや、抱える想いを語り合う場所です。運営するのは、がん医療や終末医療について考える市民団体「ホスピス研究会 OKAZAKI」です。



代表の金田亜可根さんは、生後三ヶ月の息子さんを亡くされたこと、若くして大腸がんを患ったご友人を看取られた経験が、がん医療や終末期医療・いのちについて考えるきっかけとなったそうです。2000年に「ホスピス研究会 OKAZAKI」を設立して以降、多くのがん患者やその家族の心に寄り添ってきました。

金田さんは自身もそうであったように、患者本人や家族が、ひとりで抱えるつらい思いを安心して打ち明けられる場所が必要だと思い、これまでも「お話の会」と称した患者会を開催し、同じ悩みを抱える患者同士が語らう場として、自宅を開放してきました。また患者だけでなく、医療者を交えた話し合いの場も設けてきました。そうした活動を経て、もっとオープンに、誰もが来られる場がほしいという声もあり、かつて金田さんのお母さんが経営していた自宅隣の喫茶店を改装して出来上がったのが「がん患者サロン」です。

いざという時のために

『今では国民病とも言われる「がん」ですが、当事者になってみなければ、治療法や医療制度の問題などを実際に知ろうとする機会もないのが現実です。しかし、いざ自分や身内ががんになり、治療法などで様々な選択を強いられたときに、冷静な判断をするのはとても難しいのです。だからこそ、健康な人にも、必要に迫られていない人にも、一般の市民として、がん医療・終末医療・緩和ケア・ホスピスといったことに関心を持ってほしいですね。』

実際治療をしていく上では、その時々で多くの選択を強いられます。そのときに、自分自身が自分の意思を持って選択をしていくためには、何が必要でしょうか。治療する場としての病院がいのちを看取る場になっていく段階で、自分が、あるいは家族が、いのちを終えるための心構えをするためには、それぞれにその答えが違います。



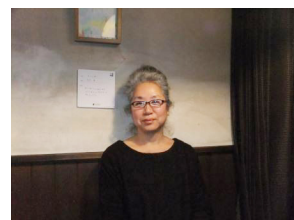
ホスピスというと、「終末医療＝もう治療方法のない末期患者の行く先」というようなイメージがあるかもしれませんが、けれども、死を迎える直前まで病院で治療を続ける以外に、治療をやめるという選択もあるのです。緩和ケア病棟で症状コントロールを受けることで家に帰ることもでき、残された時間を自分の意思で有意義に過ごすことも、選択の一つです。』

そういったことを含め、様々な思いや考えを、ひとりで抱え込むのではなく、落ち着いた場所で誰かと話しながら、あるいは同じ悩みを抱える人と、静かに時間を共有しながら考えることも、時には必要かもしれません。



「共感」の場づくり

サロンでは、金田さんやスタッフの方が、来た人を常に温かく受け入れてくれます。会は、あくまでも市民団体なので、治療法などについての話には一切答えられませんが、訪ねてきた方の話をゆっくりと穏やかに聞いてくれます。勇気を持って、このサロンを訪ねてきた方が、「来てよかった」と思えるようにお迎えしたいと、優しい眼差しで金田さんは言います。



『サロンは、がん患者さんとそのご家族が、情報が欲しい時、本が読みたい時、疲れた時、誰かと話がしたい時、一人になりたい時など、自由に利用していただく場です。市民の皆様にも事前に情報を役立てていただきたいために開放していますが、本来は「患者さんのためのサロン」ですので、会話などのご配慮をいただくようお願いしています。関心のある方は、どうぞ扉を開いてみてください。利用料は無料です。』

「ホスピス研究会 OKAZAKI」

- 構成
 - 2000年 ホスピス研究会 OKAZAKI 発足 会員 83名 (市民)
 - 2007年～患者会「お話の会」 登録 68名 (患者)
 - 2008年～「より良いがん医療の為に」委員会 委員 30名 (医療者と患者・市民で半々)
 - 2008年～「医療と美術」大学・病院・患者サロンとの協働 (ワークショップ・病院へ絵の寄贈など)
- サロン 毎週土・日曜日 午前10時～午後5時 (年末年始、連休、お盆、企画開催時はお休み)
- メールアドレス cbc32820@pop21.odn.ne.jp
- 運営事務局：岡崎市康生町515-39 0564-26-5787